



ながの東急百貨店 駅前開店60周年特別企画
岩谷晃太展 同時開催 日本画の現在地 一千住博から松岡歩まで一

ながの東急百貨店では、駅前開店60周年 特別企画として、「岩谷晃太展」を開催します。

岩谷氏は、2021年に東京藝術大学大学院を修了・博士号を取得。大学院在籍中に法務大臣賞（第三十四回有芽の会）、2023年に足立美術館賞（第七十八回春の院展）、昨秋には、二作目となる足立美術館の作品購入収蔵が決まるなど、現在 最も注目を集める日本画家の一人です。

本展では、新たな日本画の可能性を予感させる岩谷氏の新作をはじめとする作品の数々を一堂に展覽します。

また、同時開催としまして、「日本画の現在地 一千住博から松岡歩まで一」を開催します。次代を担う日本画家の作品を交え、技術の伝承を基に現代の感性で表現された作品をご高覧いただけます。岩谷氏とあわせ約60点の展覧を予定しております。



岩谷晃太「月光雷光図屏風」
日本画 画寸:186×192cm



岩谷晃太「月と稲妻」
日本画 4号 画寸33.3×33.3cm



岩谷晃太「白牡丹」
日本画 8号 画寸45.5×27.3cm

■概要 タイトル：岩谷晃太展

同時開催 日本画の現座地 一千住博から松岡歩まで一

会 期：7月2日（木）～7日（火）

※最終日 午後3時閉場

会 場：本館5階 催物場（入場無料）

販売商品：作品約60点を展示販売

作家来場：7月4日（土）・5日（日） 各日 ひる12時～午後6時

【岩谷晃太の雷】

画家が最も惹かれ描いているモチーフです。

面相筆を用いて、厳密な線を更に厳しく息を呑む様子にて閃光を描きます。

学生時代、抽象彫刻の巨匠・ブランクーシに傾倒した岩谷晃太。

モチーフをギリギリまでそぎ落としたその作風に魅せられたそうです。

「一瞬の閃光を描きたい」絵画を構成する色・形などの要素を可能な限り

そぎ落としたシンプルな線の美しさで、実体のない光を表現したのが

現在の「雷」の作品です。



ブランクーシ「空間の鳥」▲

作品詳細はこちら <https://www.nagano-tokyu.co.jp/event/entry-9561.html>



千住博「ウォーターフォール」
日本画 4号 画寸33.3×24.2cm



松岡歩「浮游」
日本画 6号 画寸31.8×41cm

岩谷 晃太

1989 東京都生まれ
2021 東京藝術大学大学院
美術研究科 博士後期課程
日本画研究領域 修了／博士号取得
2023 第78回 春の院展 足立美術館賞
2025 GroupAXIS-千住博と日本画の未来(日本橋三越)

現在 日本美術院 院友／東京藝術大学 非常勤講師

千住 博

1958 東京都生まれ
1995 第46回 ヴェネツィアビエンナーレ名誉賞
2020 高野山 金剛峯寺に障壁画奉納
2025 奈良国立博物館に作品収蔵(常設展示)
2026 東京国立博物館に作品収蔵
(新春特別展出品)

現在 日本芸術院会員

松岡 歩

1978 神奈川県生まれ
2010 東京藝術大学大学院
美術研究科 博士後期課程
日本画研究領域 修了／博士号取得
2016 第71回 春の院展 外務大臣賞
2024 再興第109回 院展 足立美術館賞

現在 日本美術院 特待

ながの東急百貨店URL
<https://www.nagano-tokyu.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問合せ】
(株)ながの東急百貨店 総務・人事(広報)
TEL 026-226-8543(直通)、026-226-8181(代表)